

○自分の制服、正しい手入れをしよう。

1.対象学年 ( 1年 )

2.ねらい

日常着の手入れについて関心を持ち、自分の制服の表示を調べ、手入れの方法を知る。

3.学習の流れ

学習の活動	実際の様子
<p>①二つの制服（A 手入れがうまくできている制服と B 生地にテカリのでた制服）を見て比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手入れの仕方が悪いと生地が傷んでしまうことに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A は、生地がきれいだな。</li> <li>・ B は、なんで光っているんだろう。</li> <li>・ 正しい手入れの仕方をしないと、生地が傷んでしまうんだな。</li> </ul>
<p>②生地を傷めず、卒業まできれいに制服を着るために「正しい手入れの仕方」はどうすればいいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の手入れの仕方を発表させる。</li> <li>・ 自分の制服、自分で正しい手入れができるようにしよう。(教科書 P.118) 手入れの方法を決めるには衣服の点検をし、取り扱い絵表示や組成表示を確認する必要があることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家に帰ったら、すぐハンガーにかけてシワにならないようにしている。(ほぼ全員)</li> <li>・ ブラシをかける (クラスに1名いるかいなか)</li> <li>・ クリーニングに出している。(数名)</li> <li>・ 時々洗濯機で洗濯している。(数名)</li> <li>・ 家の人がやってくれるので、わからない。</li> <li>・ 制服って洗えるの？洗濯機つかえるの？</li> </ul>
<p>③自分の制服の表示を見つけ、学習ノートに写してみよう。(やってみよう「<u>ついていた表示を写してみよう</u>」に記述させる。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表示を探す。「あった！」</li> <li>・ 表示の意味は、よくわからないぞ。</li> <li>・ イラストが書いてあるので、写しておこう。</li> </ul>

<p>④表示の意味を知る。  <u>「どんなことが読み取れたか」</u>発表させ、○サイズ表示、○組成表示、○取り扱い絵表示、○原産国表示などについて知らせる。(教科書 P.116 参照。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示には色々な情報が詰まっているんだな。</li> </ul>
<p>⑤確認しよう「<u>取り扱い絵表示のシール</u>」を貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・×があると「できない」って意味だな。</li> <li>・このマークは、洗濯機マークなんだな。</li> <li>・弱くなら絞れるぞ。</li> </ul>
<p>⑥自分の制服の手入れの仕方を「<u>ふりかえろう</u>」の欄にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僕の制服は、洗濯機で洗濯ができるんだ。</li> <li>・塩素系漂白剤は使えない。</li> <li>・アイロンは中温で当て布が必要だ。</li> <li>・これで、制服を正しく手入れできそうだ。</li> </ul>

#### 4.まとめ

毎日着用する制服であるにもかかわらず、その手入れについては、「親まかせ」な生徒が多いことから、自分で手入れするきっかけ作りをしたいと考えた。色や・デザイン、サイズ、予算に目を向ける一方で、「手入れ」についても表示を読み取ること、情報を得ることが、実践に意識を向けるのに有効なようだ。今年度の生徒の制服は、古い表示であったため、まずはこの JISL0217 を扱った後、JISL0001 のマークについても扱った。